

特長

1. キャリバーH021、H022は、時刻やカレンダーの他に世界主要都市の時刻を表示するワールドタイム(標準時刻・夏時間) 1/1000秒単位で計測可能なクロノグラフ機能 (100時間計) を合わせ持ったコンビネーションクォーツです。
クロノグラフ機能とはストップウォッチ機能の意味です。

アナログ部

- 時刻表示機能、
- 3針(時・分・秒)
- ボタン操作により時刻を修正します。

デジタル部

- 時刻・カレンダー(ホームタイム)表示機能、
- 月の大小や、うるう年でも修正不要の「フルオートカレンダー」(1994年～2043年)機能付です。

「ワールドタイム機能」

- 都市名(28都市をフルスベル表示) 時刻、日、ホームタイムとの時差を表示し、自動的に標準時刻と夏時間を切り替える(オートサマータイム)機能付きです。
- 選択した都市の時刻をワンタッチでホームタイムの日時へ転送できる転送機能付きです。

「クロノグラフ機能」

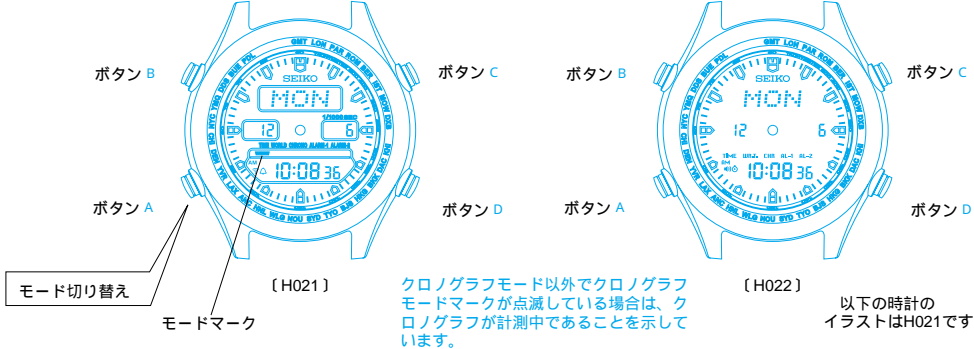
- 1/1000秒単位で計測ができ、スプリット計測も可能な100時間計です。

「アラーム機能」

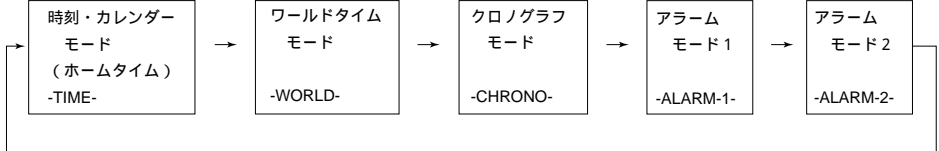
- 2チャンネル(ch)のワールドタイムアラーム機能付き、各ch、アラームのon/off(セット/解除)切り替えができます。

ボタンの名称と表示の切り替え

2. 例: 時刻・カレンダー表示(ホームタイム)



ボタンAを押すごとに、つぎの順序で切り替わります。



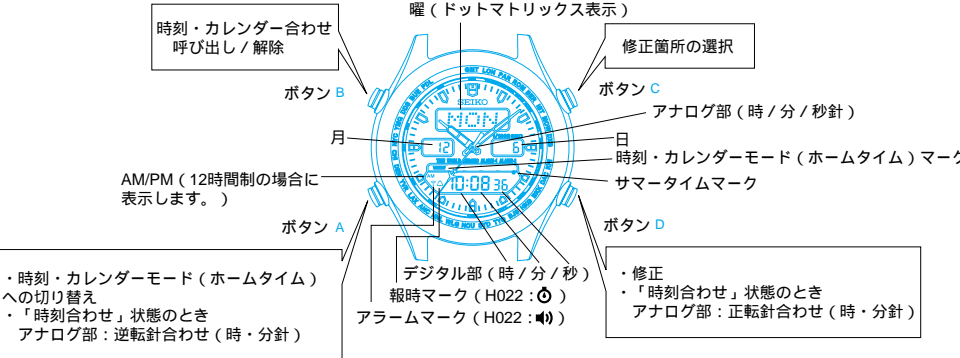
報時・操作確認音がセットされていますと、モードを切り替えるごとに「ビップ」と鳴ります。「アラームモード・2」から「時刻・カレンダーモード」に切り替わる時のみ音が違います。(操作確認音については、「3・4・アラームの使いかた」を参照してください。)

製品の説明

- 3・1. 時刻・カレンダー(ホームタイム)の合わせかた

アナログ部の秒針は、デジタル部の「秒」と連動して動きまわりますので、先にデジタル部を合わせてください。時・分針がじやまをしてデジタル部が見えない場合は、時・分針をずらしてから合わせてください。((2)・ をご参照下さい)

- (1) ボタンの名称とはたらき



ドットマトリックス表示: マトリックス状(格子状)に配列した多数の点(ドット)の点滅の組み合わせにより数字・文字や形を表示することです。
スクロール表示: ドット表示を帯状に連続配列し、表示が右から左へ、または、左から右へ電光ニュースのように切れ目なく流れて表示することです。

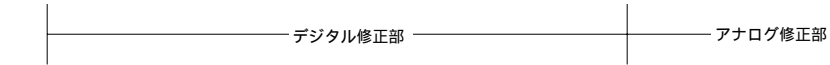
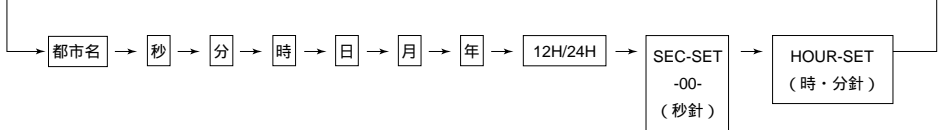
- (2) 時刻・カレンダー(ホームタイム)の合わせかた

ボタンAを押して「時刻・カレンダーモード(ホームタイム)」にしてください。
ボタンBを2～3秒間押し続けると、3時、6時、9時間のデジタル表示が消え、12時間の都市名が右から左へスクロール表示し、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。この状態で、ボタンDを押して使用する都市の選択をします。

「時刻・カレンダー合わせ」状態にしますと、アナログ部の秒針が等(00秒)し、分針は補正のため流れ方向に動く場合があります。

- (例) 東京を選択している場合: ドット表示の所が「TOKYO」とスクロール表示します。ボタンCを1回押すごとに次の順序で合わせたい箇所(点滅部)を選ぶことができます。年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。

ボタンCを押すたびに修正箇所が替ります。



「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンDを押すと「00」秒に合います。
秒表示が30～59秒のとき、ボタンDを押すと1分繰り上がり「00」秒に合います。
時刻合わせは、電話の時報サービス(日本の場合はTEL117)が便利です。

ボタンCで合わせたい箇所(修正箇所)を点滅させたあとボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。「秒」「12H/24H」「SEC-SET」「HOUR-SET」を除く。)

ボタンCを押し続けると、早送りできます。

デジタル部が合わせ終わりましたら、ボタンCを押して「アナログ部の修正状態(秒針)」

SEC-SET (-00) にします。ボタンDを押して秒針を12時の位置に合わせます。

ボタンCを押して「アナログ部の修正状態(時・分)」「HOUR-SET)にし、「デジタル部」の時刻に、ボタンA・Dを使って「アナログ部」の時刻(時・分針)を合わせます。

ボタンA: 逆転(反時計方向)への針合わせ
ボタンD: 正転(時計方向)への針合わせ

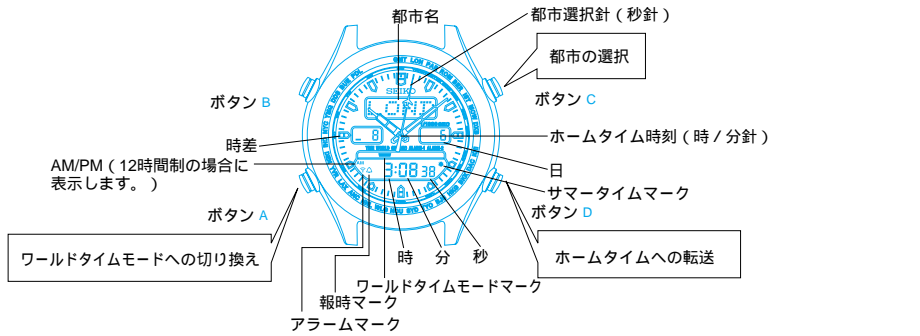
ボタンA・Dは1回押すごとに分針が10秒ずつ動きます。押し続けると早送りできます。
「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード(ホームタイム)」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「時刻・カレンダーモード(ホームタイム)」へ自動的にもどります。その後、表示は、1～2分後に「時刻・カレンダー」表示より「時刻・月」が消え「日・曜日」が表示されます。
ホームタイムを確認したいときは、ボタンDを押すことにより秒針がホームタイムを示します。再度ボタンDを押すことにより秒針は通常の秒表示に戻ります。

デジタル部(4ヶ所)を表示したいときは、ボタンA・B・C・Dいずれか1つのボタンを押してください。また、アラーム(ON)・報時(ON)のいずれかが鳴ったときもデジタル部(4ヶ所)は、表示します。
カレンダーは1994年から2043年までの年・月・日がプログラムされているので、この間、月の大小やうるう年でも修正する必要はありません。
報時機能については、3・4「アラームの使いかた」を参照してください。

時刻修正の途中で「全点灯表示」になることがありますが、故障ではありません。
ボタンCとボタンDが同時に押された状態です。その場合は、A・B・C・Dいずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード(ホームタイム)」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の から合わせ直してください。

- 3・2. ワールドタイムの使いかた

- (1) ボタンの名称とはたらき



- (2) ワールドタイムの使いかた

ボタンAを押して「ワールドタイムモード」にしてください。
ボタンCを押して時刻を知りたい(表示させたい)都市に秒針を合わせます。右から左へ2回スクロール表示し、3回目に表示が止まり頭からの4文字を表示します。
夏時間法を採用する都市については、下記の条件にしたがい自動的に時刻を切り換えます。

No.	都市名	サマータイム開始期日・時刻	サマータイム終了期日・時刻
1	ロンドン、パリ、ローマ、ベルリン、アゾレス諸島	3月 最終日曜日 AM 2時	10月 最終日曜日 AM 2時
2	モスクワ、イスタンブール	3月 最終日曜日 AM 2時	9月 最終日曜日 AM 2時
3	アンカレッジ、ロサンゼルス、バンクーバー、デンプー、シカゴ、ニューヨーク、モントリオール	4月 第1週日曜日 AM 2時	10月 最終日曜日 AM 2時
4	シドニー、ヴェノスアイレス	10月 最終日曜日 AM 2時	3月 第1週日曜日 AM 2時
5	ウエリントン	10月 第1週日曜日 AM 2時	3月 第3週日曜日 AM 2時

サマータイムの開始は、AM1:59:59 AM3:00:00となり、サマータイムマークが点灯します。
サマータイムの終了は、AM1:59:59 AM1:00:00となり、サマータイムマークが消灯します。

ご注意 サマータイムを採用している国では、サマータイム終了日のAM1時からAM2時の間は時刻修正をしないでください。

9時間の表示窓に選択した都市のホームタイムに対する時差を表示します。このとき、サマータイムも計算されています。

ボタンDを、1～2秒押し続けると、ワールドタイムの日時がホームタイムの日時に転送されます。このとき、転送確認音を発音し、時・分針が新たに設定された時刻に移動します。

時・分針は、移動時間の短い方向に動きます。
転送前の時刻が知りたい場合は、上記の から都市名を選択し、時刻を表示させてください。

- (3) 標準時比較一覧表

(GMTは、グリニッチ標準時を示しています。+はGMTより進み、-は遅れを示しています。)

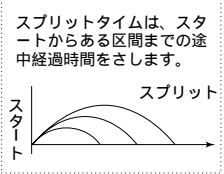
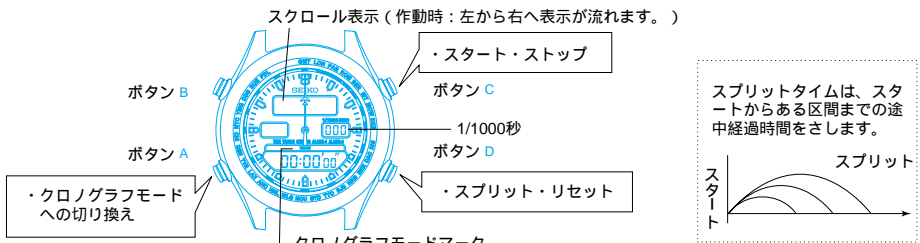
No.	ケースに表示された都市略号	GMTとの時差	都市名	都市名	サマータイム有・無
1	GMT	0	GREENWICH	グリニッチ	
2	LON	0	LONDON	ロンドン	
3	PAR	+1	PARIS	パリ	
4	ROM	+1	ROME	ローマ	
5	BER	+1	BERLIN	ベルリン	
6	IST	+2	ISTANBUL	イスタンブール	
7	MOW	+3	MOSCOW	モスクワ	
8	DXB	+4	DUBAI	デュバイ	
9	KHI	+5	KARACHI	カラチ	
10	DAC	+6	DHAKA	ダッカ	
11	BKK	+7	BANGKOK	バンコック	
12	HKG	+8	HONG KONG	ホンコン	
13	BJS	+8	BEIJING	北京	
14	TYO	+9	TOKYO	東京	
15	SYD	+10	SYDNEY	シドニー	
16	NOU	+11	NOUMEA	ヌーメア	
17	WLG	+12	WELLINGTON	ウェリントン	
18	HNL	-10	HONOLULU	ホノルル	
19	ANC	-9	ANCHORAGE	アンカレッジ	
20	LAX	-8	LOS ANGELES	ロサンゼルス	
21	YVR	-8	VANCOUVER	バンクーバー	
22	DEN	-7	DENVER	デンバー	
23	CHI	-6	CHICAGO	シカゴ	
24	NYC	-5	NEW YORK	ニューヨーク	
25	YMQ	-5	MONTREAL	モントリオール	
26	CCS	-4	CARACAS	カラカス	
27	BUE	-3	BUENOS AIRES	ブエノスアイレス	
28	PDL	-1	AZORES IS	アゾレス諸島	

ご注意 この時計に記憶されている都市と同じ時間帯に属する都市であったとしても、同期間でサマータイムを導入しているとは限りませんので、ご使用の際には十分ご注意ください。

- 3・3. クロノグラフの使いかた

・1/1000秒単位で、100時間計測できます。 ・最大計測時間は、99時間59分59秒999です。
・計測スタート後秒針は、1分間動きます。 ・100時間以上計測すると、自動的にリセット状態に戻ります。

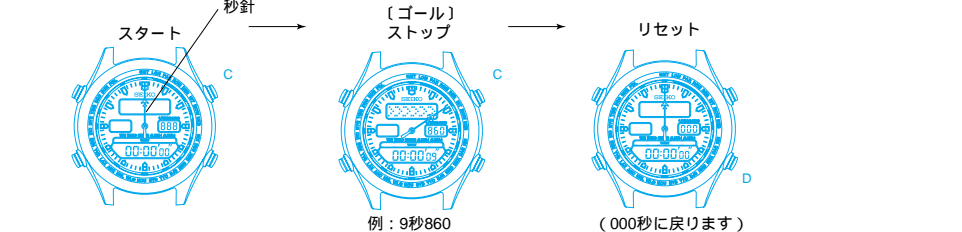
- (1) ボタンの名称とはたらき



ボタンAを押して「クロノグラフモード」にしてください。

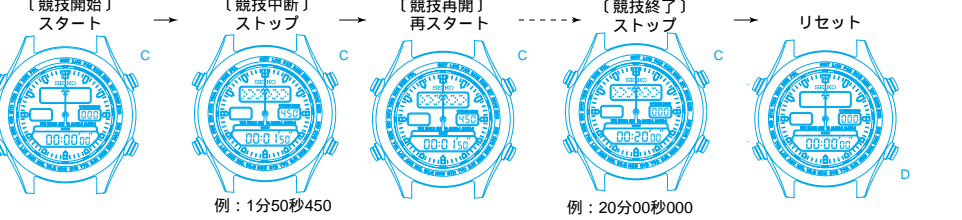
- (2) 普通の使いかた

例: 100メートル競争 (ボタンを押す順序: C C D D)



- (3) 時間計測を積算でおこなう場合

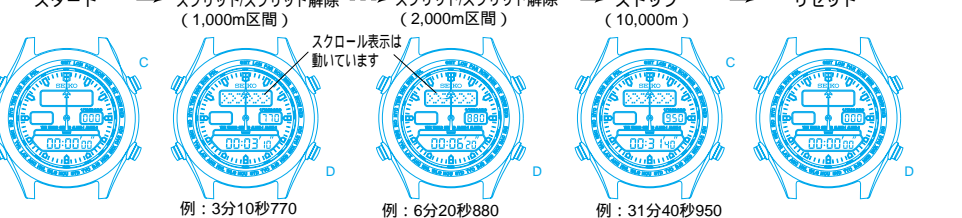
例: バスケットボール (ボタンを押す順序: C C C... C D D)



途中のストップ・再スタートは、毎回でもくり返すことができます。

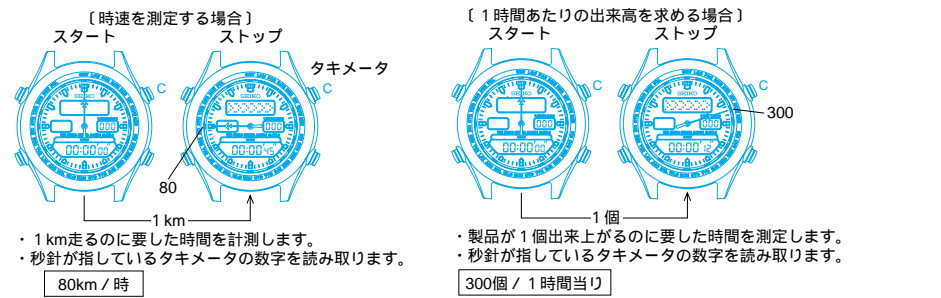
- (4) スプリット計測をおこなう場合

例: 10,000メートル競争 (ボタンを押す順序: C D/D... D/D C D D)



- (5) タキメータ(TACHYMETER)がついている場合

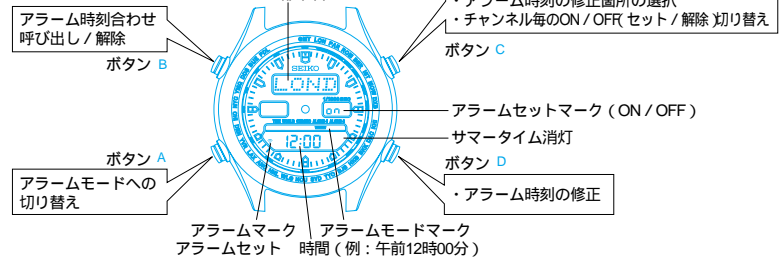
単位時間あたりの時速や出来高などが簡単に測定できます。



- 3・4. アラームの使いかた

- ・2チャンネル(ch)のワールドタイムアラーム機能付きです。
- ・チャンネル毎にアラームのON(セット)OFF(解除)切り替えができます。

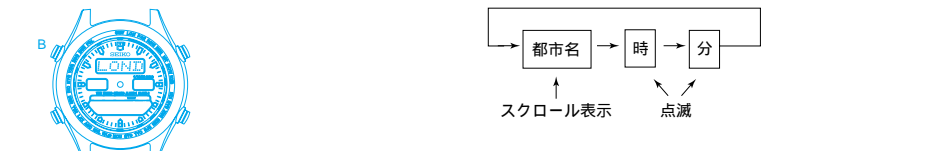
- (1) ボタンの名称とはたらき



ワールドタイムアラーム: 時差の換算をせずに夏時間・標準時間を含めた世界各地の時刻に対してセットできるアラームです。

- (2) アラームの使いかた

ボタンAを押して「アラームモード1」にしてください。
アラーム時刻をセットする都市名を右から左へ2回スクロール表示し、3回目に表示が止まり、頭から4文字で表示します。
ボタンBを2～3秒間押し続けると、アラームセットマーク・アラームセット時間が消え都市名をスクロール表示し、「アラーム時刻合わせ状態」になります。この状態で、ボタンDを押して「使用する都市」の選択をします。

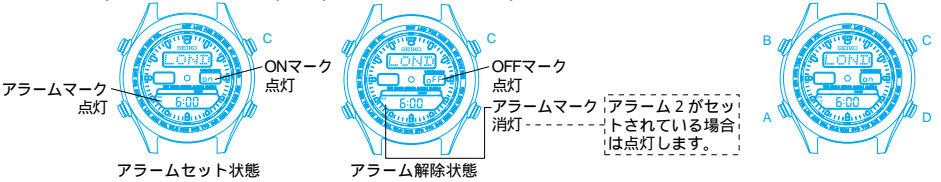


合わせたい箇所を点滅させたあとボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。ボタンDを押し続けると、早送りできます。

12時間制の場合は、AM/PM(午前・午後)に注意して合わせてください。
アラーム表示の12H/24H制は、「時刻・カレンダーモード(ホームタイム)」の12H/24H制に連動しています。
ボタンBを押して「アラームモード」に戻してください。アラームマークとセット(ON)マークが点灯します。押し忘れた場合でも2～3分後には「アラームモード」へ自動的に戻ります。「アラームモード2」を使用する場合は、ボタンAで「アラームモード2」を選択し、- を繰り返し返してください。

- (3) アラームを鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき

「アラームモード」でボタンCを押すごとに、セット(ON)と解除(OFF)ができます。



- (4) アラーム音の試し聴き(サウンドデモンストレーション)と報時並びに操作確認音のセットと解除

「時刻・カレンダーモード(ホームタイム)」でボタンCを押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。ただし、「ワールドタイムモード」では、ワールドタイムをホームタイムへ転送する際の確認音は報時のON/OFFに連動せず必ず発音します。

また、ボタンCとDを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。



報時マークを「点灯」した状態では毎正時の報時と操作確認音が鳴り、「消灯」した状態では報時と操作確認音は鳴りません。